	平成 25 年 2 ( 2013 年)	月 8 日
吹 田 市 長	あて	33号 印
   事業の名称	仮称 吹田市江坂町計画	
対象事業区域	吹田市 江坂町五丁目7番5	
※注1	│	UILDING 703
設計・代理者	Ryo設計室 氏 名 桝谷 良三	
	電 話( 06 ) 6266 — 3397 (担当者:	)
※注1	住 所 大阪市浪速区湊町1丁目4番38号 近鉄新難波	ゼル
工事施工者	大日本土木株式会社 大阪支店 氏 名 執行役員大阪支店長 永井 利明	
	電話(06)6632 - 7105	D 4.5
事業予定期間		日 から 月 17 日 まで
	計画部分  既存部分	合 計
	対象事業面積 1,448.25 ㎡	m 1,448.25 m
	建 築 面 積 867.04 ㎡	m 867.04 m
事業の規模	延 べ 面 積 2,901.68 m	m 2,901.68 m
	最 高 の 高 さ 12.00 <sub>m</sub>	m
	横 造 階 数 無調 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	造
		也下 0 階
	区分  ☑ 新 築  □ 増 築  □ 改 築  □ 茅 □ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業	新設□増設
	│ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	□ 建築物の新築又は増改築の事業	
事業の目的・内容	│	32 戸) )
	┃ ┃	<b>も</b>
	□ その他(:	, ]
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業	受 付
	□ その他( )	
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる	
	・ガイドライン取組事項チェックリスト	
添付書類	・工事関連車輌通行ルート図	
Ī	・その他必要と認める図書	第   号

# 環境まちづくりの概要(1)

I 大阪ガスグループの事業活動における環境負荷の軽減 人阪ハヘノルーノの事業活動における環境負荷の軽減

での省資源、省エネルギーを推進する。

■大阪ガスグループの製品・サービスによる環境負荷軽減への貢献
人阪ハイノルーノは、環境についていて、の合体とともに環境している。 培 「具何の程滅に分める。 てのにめ」、、より環境体王に具制 9 る坟例 ソ人ナムの用光・首及を凶るとともに真源の井利用を延進

Ⅲ地域および国内外における環境改善への貢献

大阪ガスグループが事業活動を営む地域及び国内外における環境改善に取り組む。

#### 在友商事グループ基本方針」

1.環境に対する基本姿勢

良き企業市民として、当社の行動指針に沿い、地球環境の保全に十分配慮する。

2.環境関連法規の遵守 事業者の環境方針

国内外の環境関連法規を遵守する。またグループ各社は同意した協定等を遵守する。

3.自然環境への配慮

自然生態系等の環境保全ならびに生物多様性の維持・保全に十分配慮する。

4.資源・エネルギーの有効活用

資源・エネルギーの有限性を認識し、その有効利用に努める。

5.循環型社会構築への寄与

廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルに取り組み、循環型社会の構築に向け努力する。

6.環境保全型事業の推進

総合力を生かし、環境保全型事業を推進し、社会の環境負荷の低減に貢献する。

環境マネジメントシステムを活用して、環境目的・目標を設定、定期的な見直しを行い、その継続的改善を図りつつ、環境汚 染の予防に努める。

8.環境方針の周知と開示

この環境方針は、住友商事グループで働くすべての人に周知するとともに広く開示する。

#### 当該事業における 環境まちづくり方針

道路沿いには植栽帯を設け、空地には積極的に緑地を配した上、外観についても周辺環境になじむ色や素材を採用する等、 是観に配慮した計画としています。 また、住戸内設備についても高効率型給湯器、エネルックリモコンによるエネルギーの「見える化」、節水型トイレ、キッチンに

<mark>はディスポーザーを設置し、環境への負荷の軽減を図っております。</mark>

#### 1. 実施率と主な実施内容

## 1-1. 工事中

実施率 100 パーセント

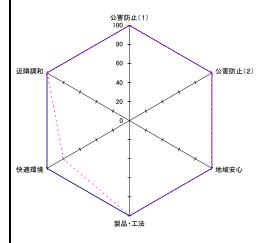
(小数点第2位以下切り捨て)

実施する・一部実施するの項目数 該当なしを除いた項目数

48

48

# ---:方針, —: 実施報告書



報実	20	13	5	3	4	3
告書施	20	13	5	3	4	3
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方針	20	12	5	3	4	3
針	20	12	5	3	5	3

公害防止(1) 公害防止(2) 地域安心 製品・工法 快適環境 近隣調和

# 主な実施内容

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるよう推進しました。 施工計画において排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械及び低燃費型の建設機械の使用等を実 施しました。

# 環境まちづくりの概要(2)

#### 1-2. 施設・設備等

実施率 85.1 パーセント

実施する・一部実施するの項目数

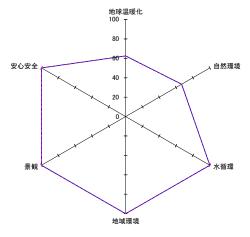
23

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

27

## ---:方針, —:実施報告書



	地球温暖化	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
報実 告	5	2	3	8	3	2
書施	8	3	3	8	3	2
	地球温暖化	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方 針	5	2	3	8	3	2
針	8	3	3	8	3	2

#### 主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

7.7 t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

高効率給湯器「エコジョーズ」採用により、240kg/台 のCO2を削減。240kgX32戸=7680kg 削減。\* 従来のふろ給湯器806㎡/年、エコジョーズ702㎡/年をお使いのモデルでの試算。

(2)緑地面積

緑化率

20.04 %

条例基準分

20.00 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

(3)雨水利用

雨水貯留量

1.0 t

うち雨水利用量

1.0 t

利用目的

【☑植栽水やり□トイレの流し水□洗車□その他

(4)上記以外の主な実施内容

建築物のエネルギー負荷を抑制するため、全戸ペアガラスを採用しました。自転車置場屋外通路部分に浸透性のある舗装を採用しました。

# 環境まちづくりの概要(3)

# 2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
31	該当なし	実施した
50	実施しない	該当なし

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施した環境まちづくりの取組を記載ください。)

・エネルックリモコンによるエネルギーの「見える化」
※エネルックリモコン…ガス給湯暖房機で使用されているガス・水道・電気の
使用量、料金目安及び使用パターンを表示する機能を搭載した給湯暖房機のリモコン(台所用リモコン)の

・節水型トイレの採用

・キッチンディスポーザーの採用

## ●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取 組事項を実施しました。

	取組事項	実 施 の 有 無	実施内容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
	会会は、		
建設機	<b>養械</b>		I
1	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設 機械を使用します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を可能な限り使用 した。
2	低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワー ショベルなど)を使用します。	□ 実施した       □ 一部実施した         □ 実施しない       □ 該当なし	低燃費型の建設機械(ハイブリット式パワーショベルなど)を可能な限り 使用した。
3	排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。	□ 実施しない □ 該当なし	排気ガスの低減を図るため、アイドリングを行わないよう工事現場内の 看板設置などにより喚起した。
		□ 実施した □ 一部実施した	
4	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行うよう工事現場内 の 看板設置などにより喚起した。
	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、	☑ 実施した □ 一部実施した	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を可能な限り抑
5	を な働台数を抑制します。	□ 実施しない □ 該当なし	制した。
	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準	□ 実施した ☑ 一部実施した	 
6	化を図ります。	□ 実施しない □ 該当なし	限り工事の平準化を図った。
-	***********	☑ 実施した □ 一部実施した	***************************************
/	機械類は適切に整備点検を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	機械類は適切に整備点検を実施した。
工事関	  関連車両		
		□□実施した□□□の一部実施した	
8	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しま す。		燃費や排出ガス性能のよい車両を可能な限り使用するように喚起した。 た。
		□ 実施しない □ 該当なし	
9	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車	☑ 実施した □ 一部実施した	大阪府条例に基づく流入車規制を、すべての車両で確実に遵守した。
	両で確実に遵守します。	□ 実施しない □ 該当なし	
		□ 実施した ☑ 一部実施した	
10	工事関連車両であることを車両に表示します。	 	工事関連車両であることを可能な限り車両に表示するよう喚起した。
	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺		
11	道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避	□ 実施した □ 一部実施した	工事関連車両の走行ルートや時間帯は周辺道路の状況、住居の立地 状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を可能な
	けて設定します。	□ 実施しない □ 該当なし	限り避けて設定し、施工計画において検討し、実施した。
	建設資材の搬出入計画において、適切な車種	□ 実施した ☑ 一部実施した	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで可能な
12	を選定することで車両台数を抑制します。	□ 実施しない □ 該当なし	限り車両台数を抑制するよう、施工計画において検討し、実施した。
	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒	 	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関
13	歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなど を奨励し、工事関連の車両台数を抑制します。		の利用、相乗りなどを奨励し、可能な限り工事関連車両台数を抑制するよう施工会社において喚起した。
	- 1 PACTO TIPLE MC PRINCE OF 1	□ 実施しない □ 該当なし	
14	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際に は、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しま	□ 実施した ☑ 一部実施した	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、可能な限り騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮するよう施工計画において検討し、実施し
	す。	□ 実施しない □ 該当なし	to
		☑ 実施した □ 一部実施した	田田。《上孙刘庭亦典》中,上十7上以,一处为阳川中山。于一二、
15	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現 地でタイヤ洗浄を行います。	   	周辺への土砂粉塵飛散を防止するため、可能な限り現地車両出入り口にてタイヤ洗浄を実施した。

	取組事項	実 施 の 有 無	実施内容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	
16	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際に は、騒音や水質汚濁に配慮します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、可能な限り騒音や 水質汚濁に配慮し、実施した。	
17	工事関連車両を場外に待機させません。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	敷地形状・建物配置上 場内だけでは不可能で、一部場外待機車輌が 発生したが、可能な限り場内とした。	
18	クラクションの使用は必要最小限にします。	☑ 実施した □ 一部実施した	クラクションの使用は必要最小限にするように喚起し、実施した。	
19	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリン グをしません。	☑ 実施した □ 一部実施した	自動車排出ガスの低減を図るため、可能な限りアイドリングを行わない ように喚起し、実施した。	
20	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した	空ぶかしを抑制するなど環境に配慮した運転を行うように喚起した。	
工事方 騒音・	法 振動等			
21	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	遮音性の高いシートを足場に設置した。	
22	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業 を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を実施した。	
23	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない 工法を採用します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	本計画では杭の施工は行わない計画のため、該当なし。	
24	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、可能な限り近隣に配慮した時間帯に行うよう実施した。	
粉じん・アスベスト				
25	解体、掘削作業などの際には、散水を十分に 行います。	☑ 実施した □ 一部実施した	掘削作業などの際には、散水を十分に行った。	
26	土砂などが露出して飛散のおそれがある場合は、シートで覆います。	☑ 実施した □ 一部実施した	土砂などが露出して飛散のおそれがある場合はシートで覆うよう施工 計画において検討し、実施した。	
27	建築物などの解体の際は、アスベストの使用 の有無を調査するとともに、調査結果を近隣住 民の見やすい位置に掲出し、市長にも報告し ます。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	現状が空き地のため、該当なし。	
28	アスベストを含有する建築物などの解体の際 には、確実な飛散防止措置を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	現状が空き地のため、該当なし。	
水質剂	5濁・土壌汚染・地盤沈下			
29	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しま す。	☑ 実施した □ 一部実施した	道路などへの濁水や土砂の流出を可能な限り防止するよう施工計画 において検討し、実施した。	
30	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶 や塗装器具の洗浄液は適正に処分します。	☑ 実施した □ 一部実施した	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適切に処分するよう施工計画において検討し、実施した。	
31	土壌汚染の状況を調査し、汚染物質の拡散防 止措置を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	地歴調査をしたところ土壌汚染はなかった。	

	取 組 事 項	実施の有無	実施、内容(実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない 工法を採用します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない工法を可能な限り採用 するよう施工計画において検討し、実施した。
33	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を可能な限り採用するよう 施工計画において検討し、実施した。
悪臭・	廃棄物		
34	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、 溶解温度管理など臭気対策を行います。	<ul><li>☑ 実施した □ 一部実施した</li><li>□ 実施しない □ 該当なし</li></ul>	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶融温度管理など臭気 対策を可能な限り行うよう施工計画において検討し、実施した。
35	現地では廃棄物などの焼却は行いません。	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	現場では廃棄物などの焼却は行っていません。
36	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB 使用機器、空調機器などに使用されているフロ ン類などやその他有害廃棄物の状況を工事実 施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な 処理を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	現状が空き地のため、該当なし。
37	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナ ンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を 行います。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレを設置する場合は適切なメンテナンス、設置場所の配慮な どにより臭気対策を行うよう施工計画において検討し、実施した。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故 防止に努めます。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数 の警備員を配置し事故防止に可能な限り努めるよう、施工計画におい て検討し、実施した。
39	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事 現場周辺の交通安全に配慮します。	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に 配慮した施工計画とするように検討し、実施した。
40	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じます。	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	休日や夜間に工事関係者以外が工事現場に立ち入らないよう出入口 を 施錠するなどの対策を講じた。
41	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取り組むよう 可能な限り努めた。
42	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に 参加します。	<ul><li>☑ 実施した □ 一部実施した</li><li>□ 実施しない □ 該当なし</li></ul>	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加するよう努めた。
環境に	・配慮した製品及び工法を採用します。		
省エオ	マルギー	T	
43	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、 工事中に使用する燃料、電気、水道水などの 消費を抑制します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	エネルギー効率の良い機器の導入などにより、可能な限り工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制するよう施工計画において検討し、実施した。
省資源	京		
44	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、可能な限り残土の 発生を抑制するよう施工計画において検討し、実施した。
45	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量 します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	資材の梱包などを可能な限り最小限にし、廃棄物を減量するよう施工 計画において検討し、実施した。
快適な	ニ環境づくりに貢献します。		
景観			1
46	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも可能 な限り配慮した計画とするよう施工計画において検討し、実施した。

取組事項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を 与えないよう、設置場所などを工夫します。	☑ 実施した □ 一部実施した	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを検討し、覆いを設置し、配慮した。
の環境美化		
工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周 辺道路の清掃を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した	エ事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行っ た。
建設資材、廃棄物などの場内整理を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行うよう努めた。
アイランド現象の緩和		
夏期において水道水以外の用水が確保できる 場合は、周辺道路などに打ち水を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	水道水以外の用水の確保ができなかった。
说明·苦情対応		
近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにします。	☑ 実施した □ 一部実施した	敷地南面道路側にお知らせ看板を設置し、週間工程を掲示した。
工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真 撃に対応します。	☑ 実施した □ 一部実施した	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示し、苦情が発生した際には可能な限り真摯に対応した。
の教育・医療・福祉施設への配慮		
エ事実施前に工事概要、作業工程などを十分 説明するとともに、施設での行事や利用状況 に配慮した工事計画にします。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	計画地の周辺に教育・医療・福祉施設はございません。
騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をします。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	計画地の周辺に教育・医療・福祉施設はございません。
工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めます。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	敷地南側において集合住宅の建設計画があり工事計画において車両 の搬入時間を調整するように努めた。
	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫します。  加環境美化  工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行います。  建設資材、廃棄物などの場内整理を行います。  アイランド現象の緩和  夏期において水道水以外の用水が確保できる場合は、周辺道路などに打ち水を行います。  の調和を図ります。  説明・苦情対応  近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにします。  工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応します。  工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応します。  の教育・医療・福祉施設への配慮  工事実施前に工事概要、作業工程などを十分に配慮した工事計画にします。  の教育・医療・福祉施設への配慮  工事実施前に工事概要、作業工程などを十分に配慮した工事計画にします。  の教育・医療・福祉施設への配慮  工事するとともに、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にします。  の教育・医療・福祉施設への配慮  工事が重複することによる複合的な騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしまります。  のお事業者との調整  工事が重複することによる複合的な騒音、振動、形じん、工事に抑制するため、周辺地域における大規模を見かなに取りを記述されていまいます。	(

## ●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を 事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施しました。

	取 組 事 項		実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球沿			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度について		大阪府建築物の環境配慮及び大阪府建築物環境性能表示については 新築で延べ面積が5000㎡以上のため、本物件の規模より届出の 義務はありません。又、任意での届出につきましても届出を行わなかった。
57	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネルギー型の機器を採用します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	給湯器を潜熱回収型 高効率給湯器「エコジョーズ」を採用した。
58	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネル ギーを活用します。		太陽光、太陽熱、風力などの再生エネルギーについて検討致しましたが、販売価格を抑え入居者負担を出来るだけ軽減するため、採用しなかった。
59	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェ ネレーション、ヒートポンプシステムなどの導入 を検討します。	·	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェネレーション、ヒートポンプシステムなどの導入について検討致しましたが、販売価格を抑え入居者負担を出来るだけ軽減するため、採用しなかった。
60	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを 冷媒として使用する装置を有する設備(空調機 器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置 後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排 出)が発生しないよう安全設計に配慮します。	□ 実施した □ 一部実施した □	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備の使用はありません。
61	採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させる ことで、建築物のエネルギー負荷を抑制しま す。		建築物のエネルギー負荷の抑制を行うため、全戸ペアガラスを採用し た。
62	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工します。		住宅性能評価を取得し、可能な限り建築物の基本構造の耐久性を高 め、超寿命の建築物を施工するよう努めました。
63	リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品を積極的に採用します。		リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品を 可能な限り採用しました。
64	高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが 少ない建設資材などを積極的に採用します。		高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが少ない建設資材などを 可能な限り採用しました。
自然理	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
65	事前に事業計画地とその周辺の自然環境調査を行い、動植物の生息や生育環境に配慮します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	計画地の周辺は住宅地のため、該当なし。
66	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、で きるだけ伐探を避け、既存の植生や地形を活 かして設計します。		計画地には地域のシンボルとなっていた大きな既存の樹木はありません。
67	既存の植生や地形を改変する場合は、移植などにより既存の植生の保全を図るとともに、表 土は適切に保管し、植栽などに利用します。		植生や地形の改変はありません。
68	事業計画地に隣接する緑地などがある場合に は、緑地などを連続させて配置するなど、生物 の生息空間の保全に努めます。		隣接する緑地はありません。
69	駐車場の緑化を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	機械式駐車のため、該当なし。
70	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化などを行います。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	一部、ロビー上部に屋上緑化を採用しました。(290.37㎡)

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	開発により生じた法面に対して緑化を行いま す。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	開発により生じた法面に対しては、出来る限り縁化を行いました。
72	植栽樹種は、地域に合わせた在来樹種を選定 します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	検討致しましたが、販売価格を抑え入居者負担を出来るだけ軽減する ため選定しなかった。
水循環	また確保します。 でではない。		
73	雨水を利用する設備(雨水タンク、散水設備など)を導入し、水資源を有効に利用します。		ltの雨水タンクを導入し、水質源を出来る限り有効利用するよう実施した。
74	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水貯留型施設又は雨水浸透施設等を設置します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	条例により雨水浸透桝を10箇所設置しました。
75	オープンスペース、駐車場などについては雨水 浸透に配慮し、浸透性のある舗装などの採用 を検討します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	自転車置場屋外通路部分に浸透性のある舗装を採用しました。
	)生活環境を保全します。		
	騒音・振動等 空調機などの騒音を発生させる設備の設置に おいては、低騒音型機器の採用、壁などの遮 音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音 や振動対策を行います。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	空調機などの騒音を発生させる設備の設置につきましては、出来る限 り 騒音や振動対策を実施しました。
77	近くに幹線道路や鉄道があり騒音の影響が考 えられる場合には、予め窓などに防音サッシを 設置します。		計画地の周辺には幹線道路や鉄道はございません。
78	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画とします。		周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場が隣接する箇所は、境界塀又は植栽等を設け周辺への影響を出来る限り軽減させました。
79	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、 換気扇、排気口、廃棄物置場の位置などに配 慮します。		近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓・換気扇・排気口・廃棄物 置場の位置につきましては、出来る限り配慮しました。
80	ボイラー、タービン、エンジンなどの機器を設置する場合は、万全の排出ガス対策を行います。		ボイラー・タービン・エンジンなどの排出ガス対策を必要とする機器の 設置はありません。
81	屋外照明や広告照明については、近隣住民に 対する光の影響を抑制します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	屋外照明や広告照明については、近隣住民に光の影響を及ぼすもの は出来る限り使用しないよう努めました。
82	建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による 太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	太陽の反射光の影響を及ぼす建築資材は、出来る限り使用しないよう 努めました。
83	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物の含有率が低いものを使用するよう出来る限り努めました。
84	周辺に教育施設、福祉施設や医療施設がある 場合は、騒音、振動、通風、採光などに特段の 配慮をします。		計画地の周辺には教育施設・福祉施設・医療施設はございません。
中高原			
85	日照障害については、建築基準法の日影規制 対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた 地域についての日影図を作成し、発生する範 脚を事前に把握し、近隣住民に説明するととも に、できる限りその軽減をします。	□ 実施した □ 一部実施した	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、吹田市の規定に基づき実施しました。
86	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明します。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を事前に把握し、吹田市の規定に基づき実施しました。

	取組事項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
87	電波障害が生じた場合は、CATV、共同受信施設などによる改善対策を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	調査の結果、電波障害は発生しないことがわかっています。
景観ま			
88	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮します。	☑ 実施した □ 一部実施した	本市の地域性と調和したものとなるよう色彩について配慮した。
89	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した	景観まちづくり計画に基づき、色彩などに配慮して周辺環境と調和した 景観形成に努めた。
90	景観形成に関わるガイドラインや方針を有する エリアではガイドラインなどに配慮した計画と設 計を行います。		景観形成地区・景観配慮地区ではないため、該当なし
91	計画区域や建設敷地がおおむね1haを超えるときは、景観形成地区の指定について協議します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	計画地の敷地面積1ha以下のため、該当なし。
92	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりの推進に努めました。
93	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、 景観まちづくりを推進します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	屋上広告の設置はありません。
安心多	ー そ全のまちづくりに貢献します。		
94	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者が安全に通行できる空間を整備します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	計画地の周辺に歩道・公開空地等がないため、該当なし。
95	災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備 機器を積極的に導入し、安心安全に配慮した 適切な整備を行います。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	専有部の火災・ガス漏れ・非常通報・侵入異常、共用部の設備異常などに対応する24時間セキュリティシステムを導入しました。
96	防犯対策などに対応できる設備機器を積極的 に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を 行います。	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	オートロックシステム及び防犯カメラ等を設置しました。

